

令和3年度 徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会 会議録

1 日 時 令和4年3月23日(水) 13時30分から14時30分まで

2 場 所 徳島市 千秋閣 7階 「鶴の間」

3 出席者

【委員】花本委員，田中委員，西崎委員，川瀬委員，井筒委員，上家委員
(欠席：新居委員)

【県】 農山漁村振興課長，振興・創生担当3名

4 懇話会次第

1)あいさつ

2)自己紹介

3)協議内容

①ふるさと水と土保全対策及び棚田地域等保全対策の概要について

②令和3年度の事業経過について

③令和4年度の事業計画について

④意見交換

⑤その他

5 会議録(事務局説明の後，花本委員の進行による意見交換の内容を記録)

委員 「コロナでイベントとか全くできない中でよく事業を消化しているなという気がする。」

委員 「中山間地域のほ場整備事業が記載されているが，中山間地域の未整備率はどうなっているのか。平坦地域と比べてどうなのか。多分，平坦，中山間ともにあまり進んでないのだろうと思う。何が言いたいかというと，去年の米の価格の低迷が，担い手の高齢化に加え，非常に厳しい状況になっている。平坦部においても，もう米あかんわという感じで，農地の引き受け農家から，ほ場整備ができていない農地はもう戻すといった状況もでてきている。大きい農家では120haのほ場を管理しており，セキを上げて水を入れるといったようなほ場は，とてもじゃないが引き受けできないと断られている。去年の秋以降，増えてきている。中山間地域を考えてみても，非常に厳しいものがある。是非とも，中山間地域のほ場整備に特に力を入れてほしい。」

県 「数字でお示しできないが，中山間地域は平坦地域に比べて基盤整備は遅れてい

るとというのが現実であろう。中山間地域では地形を活かした農業が展開されており、画一的な整備はなじまない部分もあるので、地域に特質に応じた基盤整備を進めてまいりたい。」

委員 「鳥獣被害予防事業について、農業団体からの県知事に対する要望の中でも鳥獣対策は「支援をしてほしい」という要望が必ず上がってくる。モンキードックの取組は、今後もっと進むのか。また、鳥獣被害防止対策は国の予算もあるが、個人レベルでは使えないと聞いているが、このふる水基金の事業では、グループや地域全体でないと使えないといった縛りはあるのか確認したい。」

委員 「モンキードックの取組は町村単位で行っているのか、個人単位で行っているのか。」

県 「手元に資料を持っていないので、確認の上、後日回答させていただきます。」

委員 「徳島発！輝くむらのたから展開事業では地域を認定しているが、特産品か何かを取り上げているのか。」

県 「特産品を含め、景観や伝統行事、農林水産業にまつわる地域資源を認定している。」

委員 「昨年度と比較し、来年度予算が減額されている主な要因は、農山漁村地域での地域活動の活性化を図ることや「関係人口」の増加を促すことを目的とした事業が、他部局の内容と重複するため減額しているとのことだが、これによって活動に対する支援が滞ることのないようがないようお願いしたい。応援し隊事業で協働活動に積極的に参加する仕組みづくりに取り組んだとあるが、具体的にどのようなことをして結果、どのような成果があったのか。」

県 「昨年度から実施しており、今年度は記載の3団体で取り組んでいるが、昨年度は、上勝町の郷の元気、那賀町的那賀川小町、穴吹町のしでの会の3団体の取組を支援した。上勝町の郷の元気では棚田を活用した都市交流や活力ある町づくりを実施しているが、単なる作業だけではなく、何のための作業なのか等の詳しい説明をすることや地元の方との交流により参加者の達成感、満足感につながるような工夫を提案した。穴吹町のしでの会では八朔の収穫作業を手伝ったが、冬の八朔フェアや夏の川遊びなど、参加者にまた来ていただけるようなイベントを紹介したり、八朔を使ったシャーベットの試食を取り入れるなどファンづくりの提案をした。」

委員 「昨今、田園回帰の機運が高まってきており、このような機運をしっかりと捕まえて事業を展開していただきたい。」

県 「応援し隊事業は、作業だけ手伝って、作業が終わったら、ありがとうで終わってしまい、そこからの交流がなかなか生まれないところがあって、また来ていただいたり、別の機会に来ていただくようなことを拡げていくためにはどうしたらいいかというのが課題であった。そういった中、今年であればあわわさんのような企画力を持ったところに案を出していただいて、何かひとつ仕組みづくりができないか。作業だけでなくプラスアルファの収穫体験だとか地域の特産品の試食などをセットにすることで地域との交流の機会を増やすことを目的に昨年度から業務委託を実施している。これまで県が実施してきた協働活動のマッチングも委託している。」

委員 「地道な活動を一度止めると、活動をやろうという機運がなくなる。積極的に活動の後押しをし、事業を推進して欲しい。」